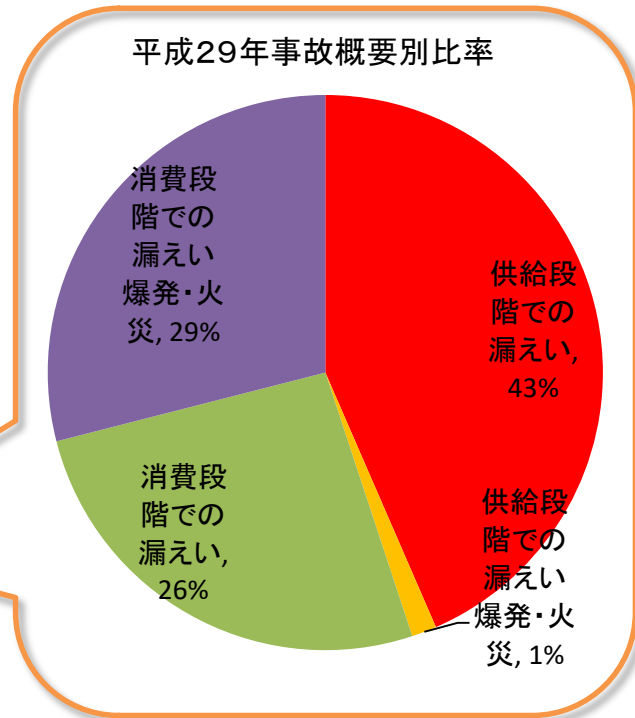
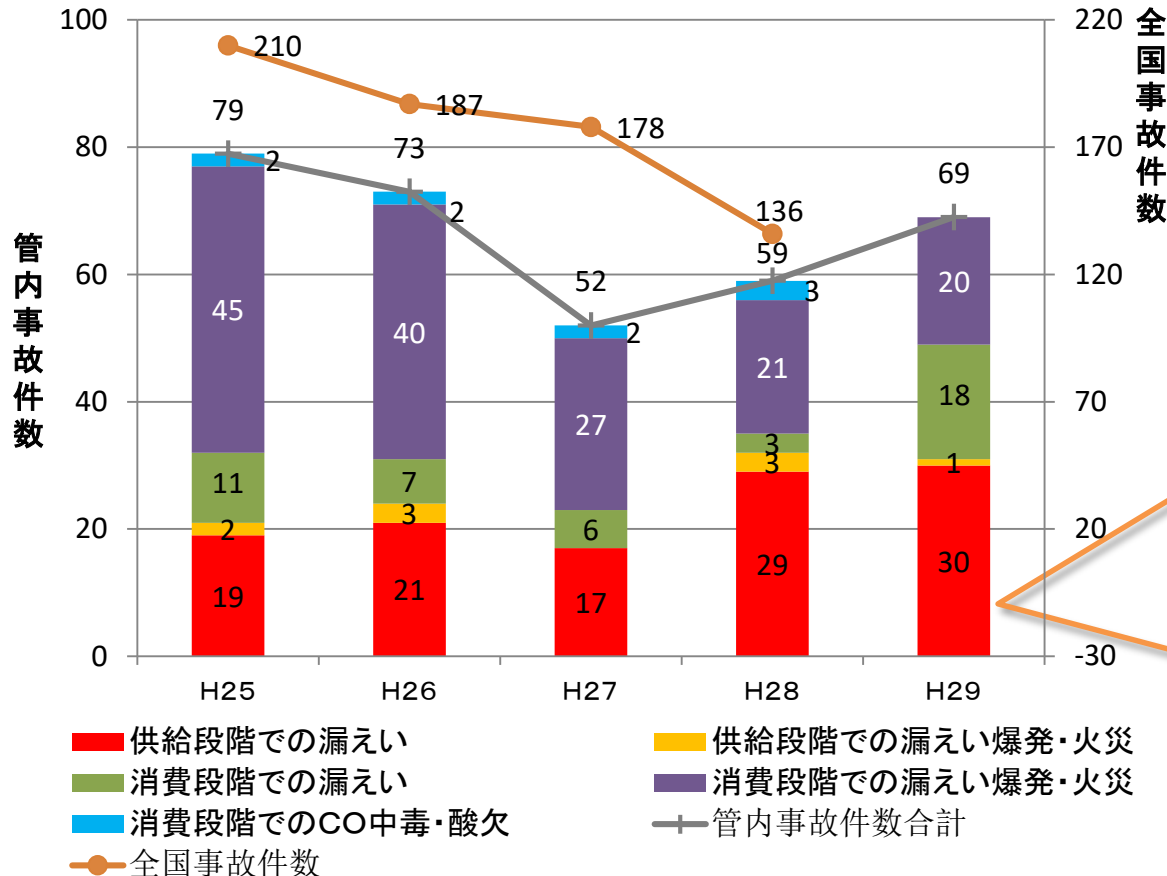


# 事故件数(LPガス)

- 平成29年(1月～12月)の管内事故件数は69件で、主に消費段階での漏えい事故が増加したことにより前年から10件増加した。また、平成25年から消費段階での漏えい爆発・火災事故が減少し、平成27年まで管内事故件数も減少傾向にあったが、平成28年以降、供給段階での漏えい事故が増加しことに伴い増加傾向に転じた。
- 平成29年事故概要別比率は、供給段階での漏えい30件(43%)、消費段階での漏えい爆発・火災20件(29%)、消費段階での漏えい18件(26%)となり、消費段階での漏えい事故の占める割合が大幅に増加した。また、平成25以降初めてCO中毒・酸欠事故なしとなった。

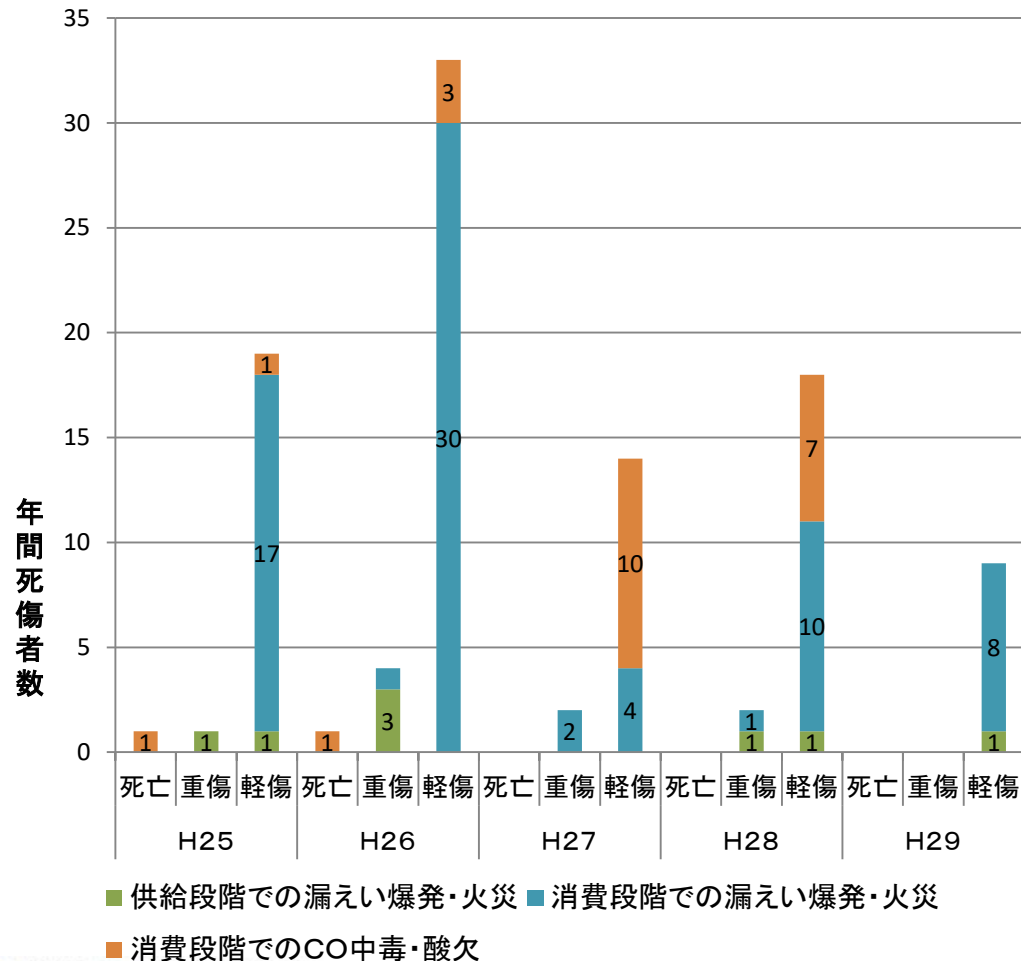
## ■平成24年からの事故概要別管内・全国事故件数の推移



# 管内死傷者数(LPガス)

- 平成29年の負傷者数は9名であり、前年に比べ11名減少した。また、平成25年以降、最も少ない死傷者数であったとともに初めて軽傷者のみとなった。
- 平成29年の事故概要別の死傷者数は、消費段階での漏えい爆発・火災が8名(89%)、供給段階での漏えい爆発・火災が1名(11%)となっており、平成25年以降、初めてCO中毒・酸欠による死傷者数の発生がなかった。

## ■平成25年からの事故概要別管内死傷者数の推移



平成29年事故概要別死傷者数比率

